

## 老朽化した樋門設備の更新・自動化により、洪水の逆流を防止する

## 【対策】79-2 河川管理施設の高度化・効率化対策

対策概要:「予防保全型の維持管理」への転換に向けて、要対策施設等の対応及びライフサイクルコストの縮減につながる取組を推進するため、河川管理施設の無動力化・遠隔操作化を実施する。

府省庁名:国土交通省

【事例】<sup>おおたがわ</sup>太田川河川工作物応急対策事業

■ 実施主体:国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所

■ 実施場所:広島県広島市

■ 事業概要:<sup>みなかわ</sup>皆川樋門は、電動式開閉装置を操作員により操作しゲートの開閉を行っていたが、近年は、委託操作員の高齢化や確保自体が困難となっており、確実なゲート操作を行うため、操作の省力化を行う必要があった。そのため、老朽化した皆川樋門の樋門ゲートをフラップゲートに更新し、施設操作の無動力化(自動化)を実施した。(令和5年度完了)

■ 事業費:約4,000万円  
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約4,000万円)

■ 効果:老朽化した開閉操作を必要とする従来のゲートの更新時にフラップゲートへ更新し無動力化(自動化)することにより、操作員の省力化及び操作員の出勤から操作に至るまでの準備時間(約30分)が省略され、急激な水位上昇等の緊急時においても確実且つ迅速な閉動作が可能となり、洪水の逆流による被害を防止する。

